

越中福岡の菅笠

技と心をつないで



郷土学習教材〔映像作品 32分 30秒〕

■ DVD

■ BD

■ とやまデジタル映像

ライブラリーで配信

<https://www.tkc.pref.toyama.jp/video>



監修：米原 寛(越中史壇会 顧問)

ナレーション：久和 恵実
車 吉章

音楽：サンクリーズ・柴 徳昭

2025(令和7)年度制作

制作：富山県教育委員会
富山県映像センター

(富山県民生涯学習カレッジ映像センター課)
TEL 076-441-8455/ FAX 076-441-5334

創造のよろこび



技と心をつないで 越中福岡の菅笠

第1章 越中福岡 菅笠どころ

高岡市福岡町でつくられている伝統的工芸品「越中福岡の菅笠」は、生産量が全国第1位を誇る。菅笠づくりがいつ、どのように始まり、伝えられてきたのか。



第2章 菅笠ができるまで

菅笠ができるまでには、多くの工程がある。そこには、地域一体による1年をかけた材料づくりと、細やかな手仕事の積み重ねが見られる。



第3章 越中福岡の菅笠の歴史

日本で唯一、スゲの栽培から販売まで一貫した生産技術体系を保持している越中福岡。そこでつくられている菅笠は、約400年間、地域の人々によって守り受け継がれてきた。



第4章 菅笠づくりの現在と未来につなぐ取り組み

担い手の高齢化、原材料であるスゲの栽培面積の減少など、多くの課題を抱える「越中福岡の菅笠」。保存会をはじめとする地域の人々は、町の誇りであり、価値のある伝統を次世代につなぐための工夫や努力を続けている。



第5章 伝統工芸のこれから

昔からものづくりが盛んな富山。その背景にある県民性、職人たちによって受け継がれてきた技と心、そして、そこにある富山の魅力について考える。



DVD・BDを貸出中
インターネットで公開中



2024(令和6)年制作

令和7年度
全国自作視聴覚教材コンクール
社会教育部門

受賞 最優秀賞
(文部科学大臣賞)

2023(令和5)年制作

令和6年度
全国自作視聴覚教材コンクール
社会教育部門



受賞 優秀賞

表紙画像：菅田（高岡市福岡町）

富山県映像センター
(富山県生涯学習カレッジ映像センター課)

〒930-0096 富山県富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館3階
TEL 076-441-8455 / FAX 076-441-5334
<https://www.tkc.pref.toyama.jp/eizou/>

